

【一太郎 2017 編】

“もの書き”のための機能を活用するマル秘テク

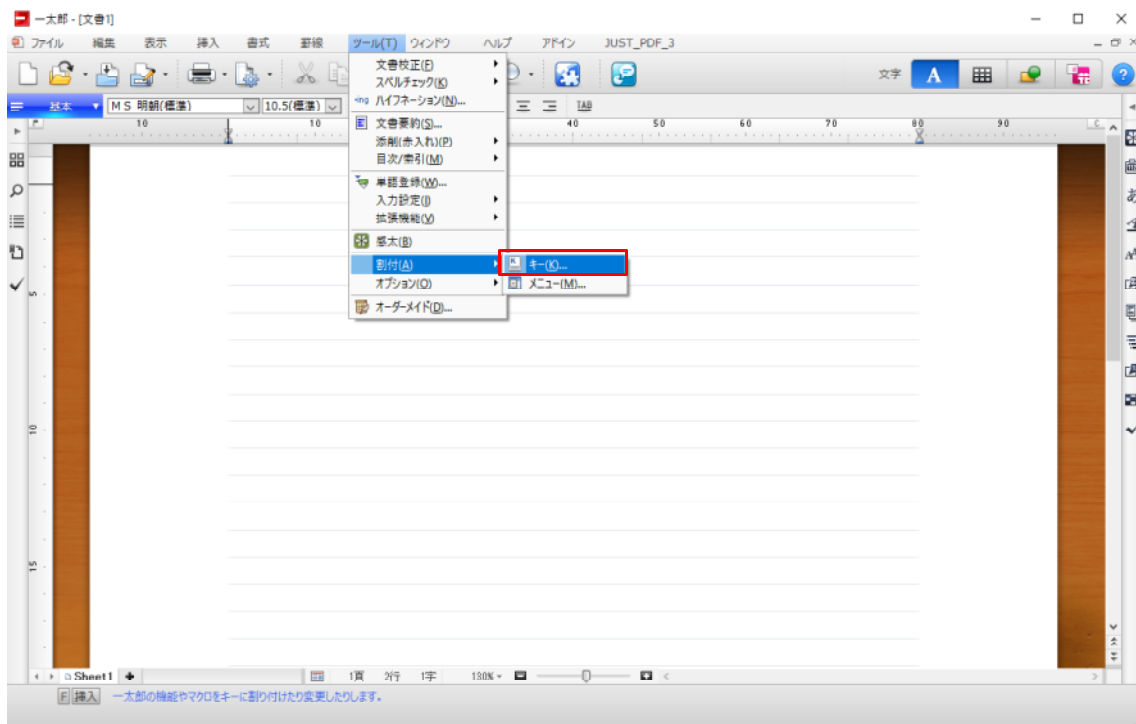
小説同人誌や電子書籍、ネット投稿小説、自分史などの執筆では、入力操作に手間取ることなく、書くことに集中したいものです。一太郎 2017 では、「…」（三点リーダ）や「—」（ダッシュ）などの約物を「……」「——」のように 2 つまとめてワンタッチで入力したり、小説に適した文書校正を行ったりと、“もの書き”に専念できる多数の機能が搭載されています。

●約物を 1 回の操作でまとめて 2 文字入力する

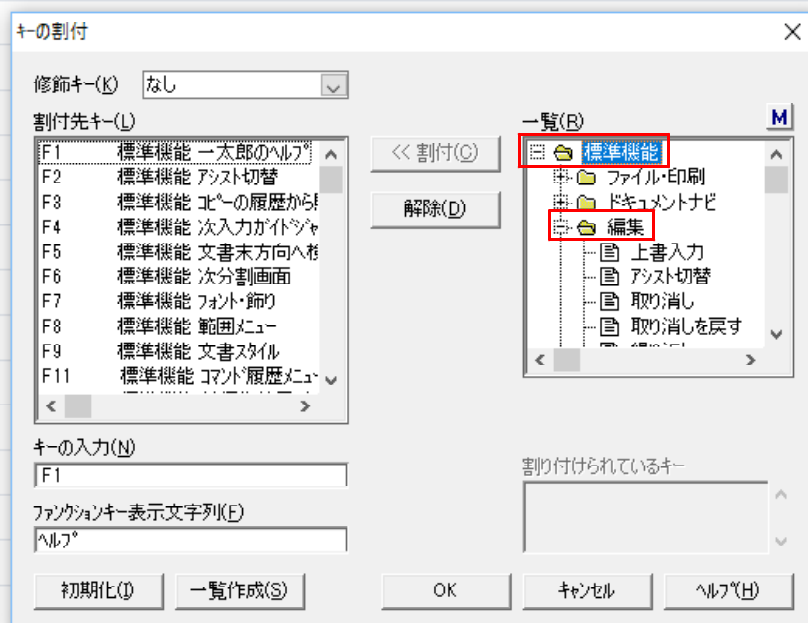
約物「…」（三点リーダ）、「—」（ダッシュ）、「～」（波線）を 2 文字ずつワンタッチで入力するには、まず小説用の約物機能をファンクションキーなどに割り付けます。ここでは、「……」を [F9] キーに割り付ける方法を例に紹介します。

※この機能は一太郎 2017 の新機能「一太郎オーダーメイド」の「かんたんオーダー」で「もの書き」を選択すると、最初からファンクションキーに割付した状態で利用できます。また、[ツール—オーダーメイド] を選択して、[こだわりオーダー] の [操作] タブで、小説用のファンクションキーセットに切り替えることもできます。

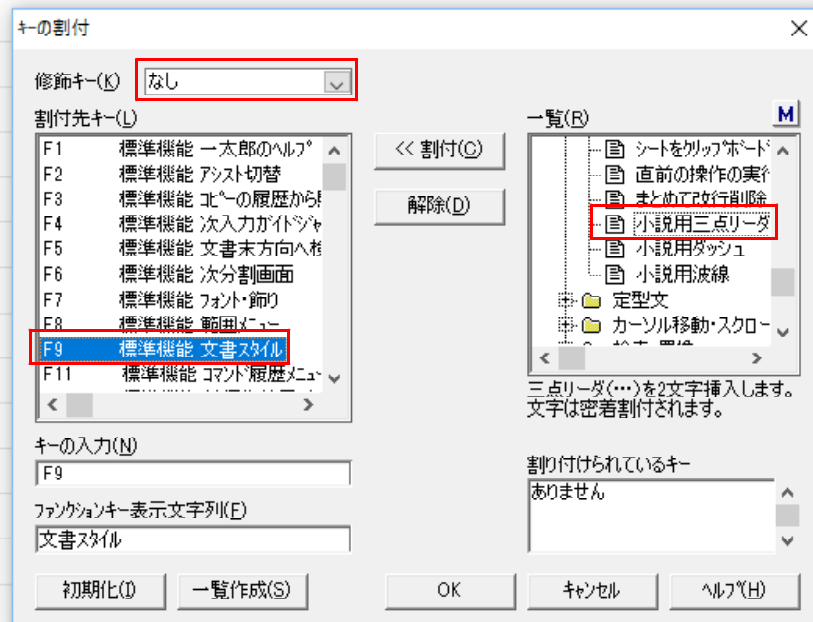
1. [ツール—割付—キー] を選択します。



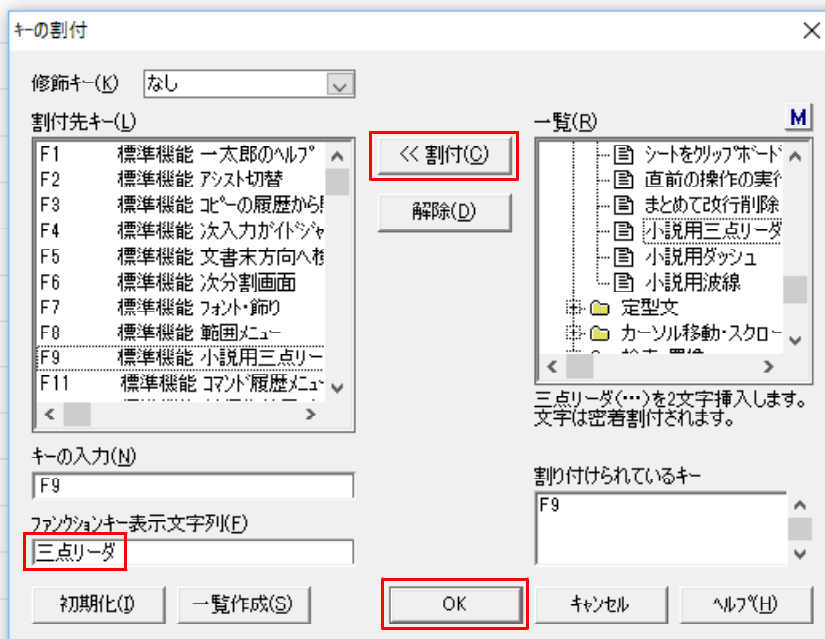
2. [キーの割付] ダイアログボックスが表示されます。右側の [一覧] で [標準機能] の [＋] をクリックして展開し、[編集] の [＋] をクリックします。



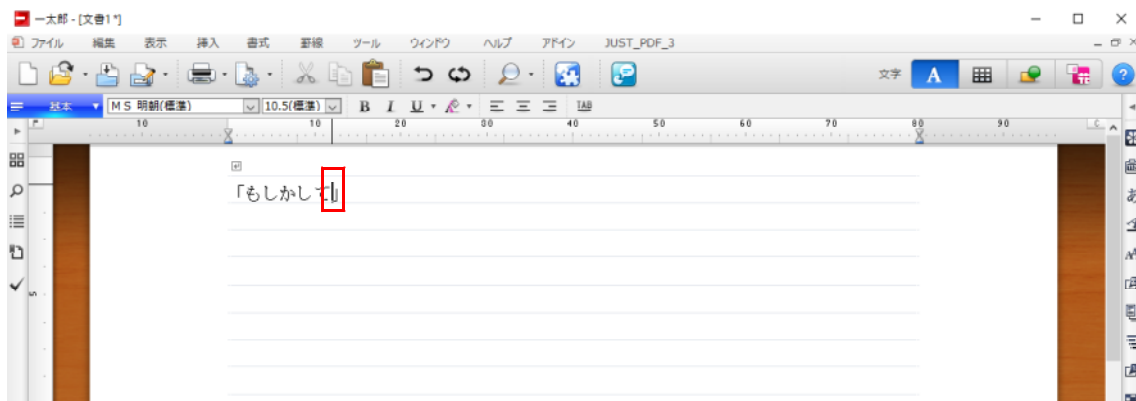
- ↓
- [小説用三点リーダー] を選択し、[修飾キー] で [なし] が選択されていることを確認し、左側の [割付先キー] で [F9] を選択します。



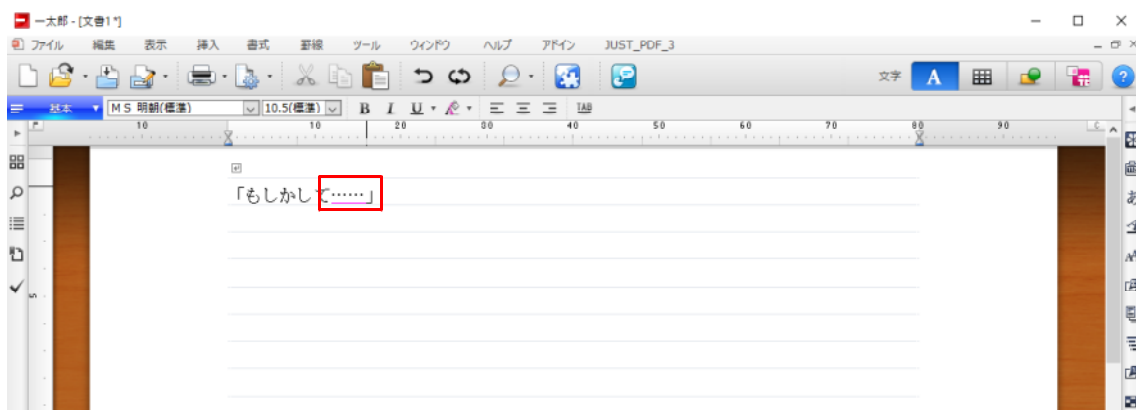
- ↓
- [割付] をクリックし、[ファンクションキー表示文字列] を修正します。ここでは「三点リーダー」に書き換えて、[OK] をクリックします。



- ↓
5. 三点リーダを入力したい位置にカーソルを置きます。



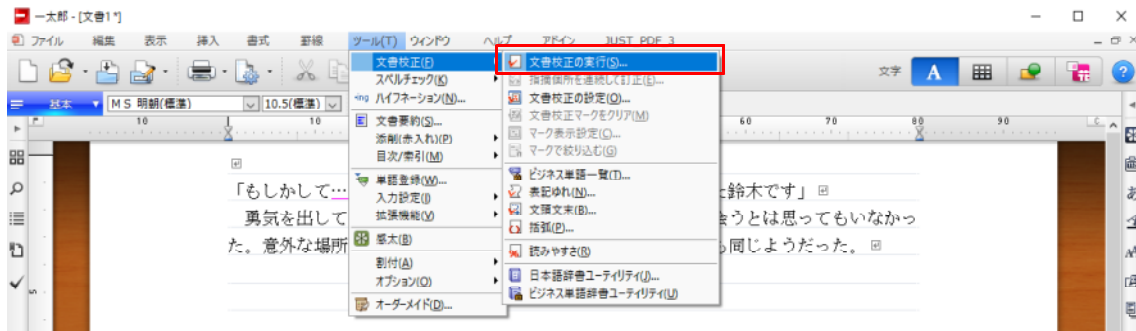
- ↓
6. [F9] キーを1回押すと、小説用の三点リーダ「……」が入力されます。



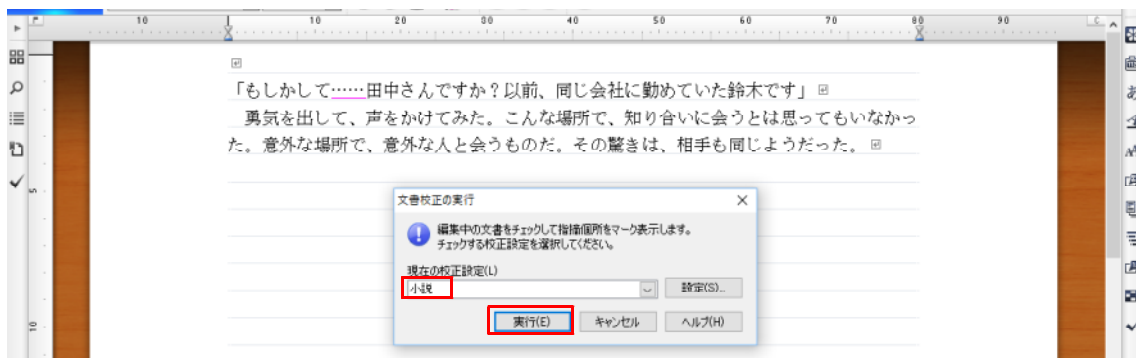
●小説用の設定で文書校正を行う

カギ括弧で括られた会話文の末尾に「。」(句点)は入れない、約物は偶数個入れる、「?」や「!」の後ろは空白を入れるなど、小説には特有のルールがあります。小説に適した設定で文書校正を行えます。

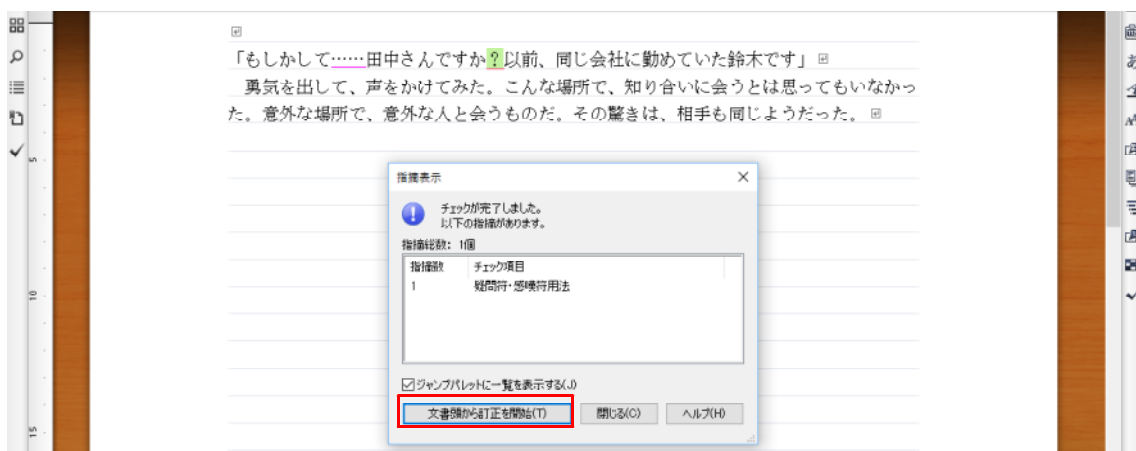
1. [ツールー文書校正ー文書校正の実行] を選択します。



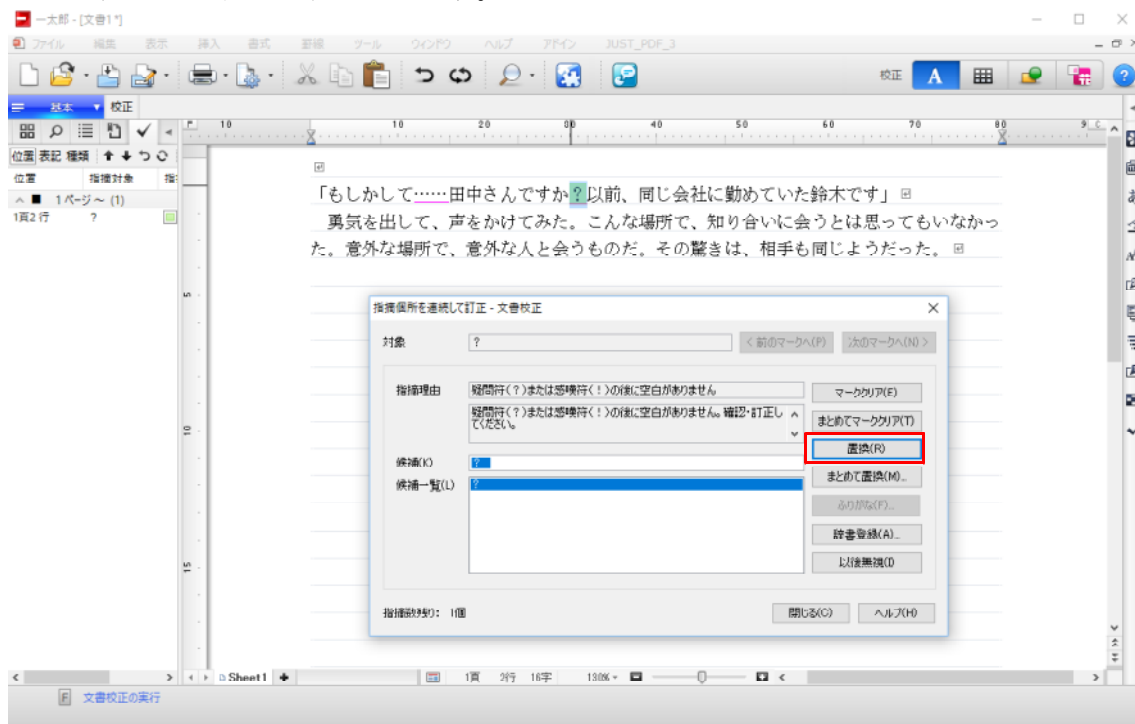
2. [文書校正の実行] ダイアログボックスが表示されます。[現在の校正設定] で [小説] を選択し、[実行] をクリックすると小説を書くのに適した校正が行われます。[設定] をクリックすると、チェックの内容を確認できます。



3. 校正が終了しました。訂正を行う場合は [文書頭から訂正を開始] をクリックします。



4. 必要に応じて訂正を行いましょ。



5. 小説用の設定で校正が終了しました。文書校正は、ツールパレットの [校正] パレットからも行えます。

